人間とちがう貝のせかい

板倉みなみ

わたしの　じゆうけんきゅうは　貝がらについて　の　けんきゅうをしま

した。

いろいろな貝がらをひろって、なんのしゅるいの貝かを　しらべることにしました。

わたしは　なぜ　このけんきゅうをしたかというと、

うみに行って　貝がらを見たときに

貝がらの名前を　パッ言えるようになりたいと思ったからです。

そして、貝がらをあつめて　きれいにならべたら　すてきかなぁと思ったからです。

わたしは貝がらをひろいに神奈川県と千葉県の２つの海にいきました。

しかし、これは思っていた　いじょうに　とてもたいへんな　さぎょうでした。

うみが家から　とおくて、あつくて、下を見ながら　すなはまを　あるくことが

とてもつかれることでした。

そして　きがつけば、おなじような貝ばかりひろっていたので、

ちがうしゅるいの貝　と　われていない貝を見つけることが　むずかしかったです。
２つの海で貝をひろったあと、

一つ一つの　貝の　名前をしらべることにしましたが、

ほんものの貝　と　ずかんにのっている貝の絵を　見くらべても、

どれも　おなじに見えるか、ちがってみえるかで

名前をさがすのが　むずかしかったです。

しかし、そのうちに、貝の　ちょっとした　とくちょうで　名前がわかるしゅんかんがあり、それがとてもうれしかったです。

たとえば、ある貝についてとくちょうが「くろい」「へこむ」とかいてある本をみつけ、貝の色が　本の絵とちがっていても「これだ！」とわかることができました。

貝の名前をしらべているうちに、気がついたことがありました。

それは、たくさんの貝に　あな　があいていることを発見したことです。

あな　があいていることは　とってもふしぎだなぁと思ったので

このあな　は　なぜあいているのだろうとしらべることにしました。

すると、

つめた貝　というかたつむりのかたちに　にた　貝　が　はで　ゴリゴリとからをけずって　あなをあけ、　中の貝をたべてしまう　ということがわかりました。

わたしは、こんな　かたい貝を　は　でけずるなんて　すごいなぁと

とてもびっくりしました。

そして、貝のなかまどうしなのに、おたがいをたべてしまうなんて、

とてもかわいそう　なことだと　かんじました。

そして　それは人間のいきるせかいと　とてもちがうことで　ふしぎなことだと思いました。

わたしは　この自由けんきゅうをとおして、

貝はいろいろな形　や　しゅるいと

すてきな名前　があることを　しりました。

そして、貝が貝をたべてしまう　という　人間のせかいでは

かんがえられないこと　について　とてもおどろきました。

これからも、わたしは貝の生き方についてもっと知りたいと思いました。